

関節炎の原因を究明 数年以内に治療薬を開発か

紅葉 関節が赤く腫れて慢性的に炎症を起こし、場合によっては体の動きが不自由になってしまいう関節炎は、一生のうちで多くの人がかかる厄介な病気であるが、これまで原因がはつきりせず、したがって明確な治療法がなかった。

しかし、トロントのウェレスリー病院の2人の医師が、ようやく原因をつきとめた結果、関節炎の治療にも明るい見通しがでてきた。

両医師によると、関節炎の犯人は人体の関節に存在するPLA2という酵素。この酵素は、低レベルだと無害だが、高レベルになると関節周辺の細胞や組織を破壊し、腫れの原因となる。

これまで関節炎の治療としては、アスピリンなどが使用されてきたが、あまり成功していない。両医師は、PLA2が増殖して関節に障害を起こすのを防ぐ方法を研究しており、数年以内には新しい薬が開発できそうだという。

40年前の世界人権宣言 起草者はワギル大教授

紅葉 国際連合の第3回総会で世界人権宣言が採択されてから1988年は40周年目。

これを記念して国連総会は、昨年、人権の尊重をさらに促進するため、12月10日（宣言が採択された日）を人権デー、その前後を人権週間と定め、国際セミナーなど各種

神戸にバンクーバー村

紅葉 北米の家並みをそっくり日本にもってきたらどうなるか。

神戸市制百周年記念事業として神戸住宅供給公社が輸入住宅プロジェクトを組み、カナダとアメリカの住宅各13戸を神戸市西区の西神ニュータウンに建設している。それぞれバンクーバー村、シアトル村と呼んで、住宅だけでなく、家並みと周辺の環境までそっくり北米。電線を地下に埋め、中央にロータリーをもつ共有の道を作り、塀や垣根のない開放的な前庭をもった住宅街になる。

バンクーバー村（写真）は、1軒当りの敷地面積約300㎡、建坪120～145㎡。外壁にカナダ杉のサイディングを貼った温かい感じの家が並び、メーグルツリーが風にそよぐ。カナダ人R・ジェニッシュ氏の設計

行事を催した。

ところで、「人類のマダナ・カルタ」あるいは「国連最大の功績」といわれる世界人権宣言の最初の草稿を書いたのは、ワギル大学（モントリオール）のジョン・ハンフリー元法学部長だったという。同氏は、1948年当時、国連の人権部長をつとめ、人権宣言準備委員会が設けた3人の起草委員会の1人だった。

現在83歳、モントリオールに住むハンフリー氏は、最近のインタビューで、世界人権宣言は、採択当時は「単に努力目標に過ぎなかった」が、その精神は多くの国の憲法に取り入れられ、また世界保健機構、ユネスコ、米州機構などの組織にも活用されているとして、宣言が大きな重要性をもつようになったことを評価している。

自分のゴルフを自分で直す練習機 丸紅がライセンス生産

紅葉 カナダ人のゴルフ熱は相当なもの。理想的環境の名門ゴルフコースも多々あるが、仕事の合間のわずかな時間を練習に当てたいという人は多い。そんな要望に応じて開発されたのが、ジョイテック社（BC州バンクーバー）の「ジョイテックGS 2020ゴルフ・シミュレーター」(写真)である。ゴルフラーは、213×120センチの台に乗ってボールをたたくと、前方のビデオ画面にその軌跡が映しだされると同時に、スクリーンについてコンピューターが分析評価をしてくれる。

ジョイテックGS 2020が面白いのは、

(実施設計は蔵設計事務所)、カナダ人フレューアの施工、カナダの部材、部品を使用しての建設で、工法はもろんツーパーフォー工法を用いている。

今回は現場近くの材料置場にランニングカッターソー（移動横切丸鋸）とフレーミンゲターブル（移動釘打機付）を設置し、そ



技術的訓練だけでなく、コンピューター・シミュレーションによって、実際コースに出てア

ーしている気分を味わいながら練習できることだ。メニューの中から好きなゴルフ場を選び、画面をみながらボールをピンへ寄せていく。ゲームを楽しみながら、細かい癖も直せる仕組みになっている。

丸紅がジョイテック社からライセンスをとり、ソニーがOEM生産することになっている。

オタクに航空博物館 珍しい飛行機も各種展示

紅葉 クラシック航空機を集めたものとしては世界有数の博物館が、カナダの首都オタワに完成した。

カナダは、第1次世界大戦後、世界で初めて北方未開拓地（フレッジ）への商業航空を開始したことも分かるように、その広大かつ人口希薄な国土を開拓するのに航空機に大きく依存してきた。それだけ、航空への貢献も大きい。

これまで個人篤志家の協力で、カナダには初期の頃からの飛行機が数多く集められてきたが、これらの貴重な飛行機は展示施設がないために、古い格納庫に眠ったままだった。オタワ郊外のロッククリフ飛行場に

ここで壁の枠組みを作り、フオーククレーンで運んで一気に組み立てるといって、能率的な施工法をとっているのも見物である。

北米の住環境ならこうなる、という見本を実地に見てもらおうという、いかにも国際都市神戸らしいプロジェクトだ。完成後は一般に売り出されるという。

